

# 港湾の長期政策策定に当たっての論点と施策の方向性(素案)－概要－

## 長期政策策定に当たっての基本認識

長期政策の目標期間:概ね5~10年後

### 我が国を取り巻く動向

- 中国をはじめとするアジア地域やBRICsの経済成長
- FTAやEPAの進展による我が国とアジア地域の経済交流の拡大、相互依存関係の深まり
- 米国及び国際機関のセキュリティ強化の取り組み、地球温暖化問題への対応

### 港湾を取り巻く動向

- アジア地域と欧米との基幹航路における更なるコンテナ船の大型化と寄港地の集約
- アジア地域を中心とする貨物輸送量の増大
- サプライチェーンマネジメントへの対応やジャストインタイム輸送等の荷主ニーズに対応した多様な海上輸送サービスの進展
- 臨海部における高付加価値製品製造業等の国内立地需要の増加
- バルクキャリアの大型化等による原材料輸送の一層の効率化の進展
- 循環型資源の輸送量の増大及び臨海部における関連企業の立地需要の増加
- 国際的な貨物セキュリティの強化、環境に配慮した物流体系の構築

## 長期政策策定に当たっての主な視点と今後の施策の方向性(素案)

### 主な視点

### 実施中の施策

### 今後追加すべき施策の方向性(素案)

我が国に欧米との基幹航路を維持するため、スーパー中枢港湾における欧米貨物の集中的取扱いと一層のサービスの充実

アジア地域との交流拡大に対応したスピーディーでシームレスかつ低廉なアジア物流ネットワークの実現

臨海部の産業活動等を支える安定的かつ低廉なバルク貨物輸送の確保

国際的な産業展開等を踏まえた我が国の臨海部における物流・産業の活性化及び立地の促進

コンテナターミナルの機能強化

国内ネットワーク・港湾間の連携強化

港湾間の利用・連携の促進

港湾関係諸手続の簡素化、情報化

円滑な物流の確保と保安対策の強化の両立

国際ユニットロードの輸送力強化

港湾や航路における安全と海上輸送の信頼性の確保

既存施設の機能更新、再配置等による効率性の確保

循環型資源物流ネットワークの形成

臨海部における物流産業空間の形成

コンテナ貨物のさらなる増大・集中に対応したターミナル搬出入の円滑化

国際輸送と国内輸送のシームレスな接続(内航船・鉄道の輸送力確保、接続強化)

港湾関係諸手続の一層の簡素化、情報化

物流を可視化するICTの検討

サプライチェーンにおけるコンテナセキュリティの確保

アジア各地との直接貿易の進展に対応したアジア物流の拠点形成

港湾ロジスティクス機能の一層の強化

バルク貨物を取り扱う産業活動と一体となった港湾利用の推進

エネルギーの安定輸送の確保

国際循環資源取扱港湾の拠点化と適正管理

臨海部の企業立地環境の充実

港湾の活性化状況に応じた施策展開